



兵庫県 川西遊技業組合
「地域安全環境美化運動」事業

安心、安全で、緑にあふれた街づくり



川西市の防犯協会などと協力して実施されたキャンペーン活動

街が発展することは、そこに住む住民にとって喜ばしいことである。しかし、その発展に伴ってさまざまな問題が生じてくるし、また失われてしまうものもある。最近、各方面で“持続的発展”ということが盛んにいわれているのも、こうした問題に対する認識からではないだろうか。街や地域住民を基盤とする遊技業、パチンコホールも、そうした動きと無縁ではあり得ない。

大阪のベッドタウンとして著しい発展を見せる兵庫県川西市。近年、主要交通である阪急電鉄が高架化され、また市内を縦断する国道176号線などの道路網が整備され



川西遊技業組合組合長
福井 梗彦さん



川西遊技業組合副組合長
崔 英秀さん



の一翼を担うキャンペーン実施

たことにより、市を訪れる人が急激に増えている。それに伴い、一般住宅を狙った空き巣、駅周辺でのオートバイや自転車などの盗難、買い物客や通勤客を狙ったひったくりなどの犯罪が増加してきた。また、周辺などの緑地地帯を中心に宅地開発が進んだ結果、樹木が減少し、緑の潤いが失われるなど、環境の悪化も進んでいる。

このような川西市の現状に鑑み、川西遊技業組合では安心、安全で、緑豊かな街づくりに貢献することを目的として、2007年(平成19年)10月12日～13日の2日間、市民に犯罪防止と植樹を訴える「川西市地域安全環境美化運動」というキャンペーンを実施した。

当日は、阪急川西能勢口駅南広場に、川西遊技業組合加盟18ホールの55名が組合名の入ったユニフォームを着用したうえ、「安心安全運動」、「110番協力店」、「防犯責任者選任の店」などの幟旗を掲げて集合。

さらに、兵庫県遊技業協同組合事務局員4名、キャンペーンの趣旨に賛同し、協賛団体に名前を連ねた川西市と川西防犯協会の関係者60名、子ども用のおまわりさんの制服・制帽を着用した幼稚園児8名も集まってキャンペーンを開始した。

川西市内で最も通行人が多いといわれる駅南広場で、道行く人たちに「確実に鍵をかけ、空き巣や自転車の盗難に注意しましょう」、「ひったくりに注意しましょう」、「街を緑にしましょう」などと呼びかけ、緑化運動のためにあらかじめ準備したブルーベリー、アメリカハナミズキ、温州みか

ん、千両などの苗木1,200本を無料配布した。おまわりさんのかわいい制服を着た幼稚園児が参加し、組合員と一緒に犯罪防止や植樹を訴えたことが功を奏したのか、ほとんどの通行人は足を止め、苗木を受け取ってくれたという。

駅前でのキャンペーンのため、当日は混雑も予想されたことから、通行人などの安全確保を図る目的でガードマン4名を雇用し、通行人の整理にあたった。せっかくのキャンペーンで事故等があつては元も子もないため、このような用意周到な準備は必要不可欠のことと思われる。

また、事前にキャンペーンの実施を広く告知するため、表面に「地球と環境にやさしい安全安心町づくり」というキャッチコピー、裏面に苗木の植樹方法や植樹が環境に与える好影響などを記載したチラシを5万部作成し、新聞折込にした。

キャンペーン終了後は、参加者全員で実施場所の駅南広場と付近一帯の清掃を行い、解散した。さらに各ホールでは、キャンペーン翌日に店舗前で苗木1,000本を通行人に無料配布して、植樹と犯罪防止を訴えた。

このキャンペーンでは川西市と川西防犯協会の協賛が得られ、組合加盟ホールの参加者を超える人々が両団体から駆けつけたことで、広範囲にわたる運動を展開することができた。また、本キャンペーン実施後には、両団体や一般市民から高い評価が寄せられるとともに、継続実施を強く要請された。川西遊技業組合では、それらの声を取り入れ、2008年以降も引き続き、犯罪防止と植樹による環境美化を訴えるキャンペーンを実施していく予定である。

決して大掛かりなものではないが、地域住民と、そこでパチンコホールを営む関係者が一体となり、安心、安全な街づくり、緑の多い街づくりに継続的に取り組むことは、有意義な活動である。

